

第4学年 国語科学習指導案

日 時 令和6年11月20日(水)
第5校時
対 象 第4学年2組32名

1 単元名 和室と洋室のよさをしょうかいしよう くらしの中の和と洋（東京書籍）

2 単元の目標

- (1)比較や分類の仕方を理解し使うことができる。
(知識及び技能) (2) イ
- (2)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係について叙述を基に捉えている。(思考力、表現力、判断力) C (1) ア
- (3)自分の考える和室と洋室のよさについて、書かれていることを要約して伝えることができる。
(思考力、表現力、判断力等) C (1) ウ
- (4)進んで目的に合わせて文章を要約し、紹介文を書いて感想を伝え合うことができる。
(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(2) イ 比較や分類の仕方を理解し使っている。	C (1) ア 「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述を基に捉えている。 C (1) ウ 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。	進んで目的に合わせて文章を要約し、学習の見通しをもって、紹介文を書いて感想を伝え合おうとしている。

4 指導観

(1) この単元の扱いについて

<重点指導事項> 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編 2 思考力、判断力、表現力等
第3学年及び第4学年 「C 読むこと」
(1) ア
「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述を基に捉えている。
C (1) ウ
「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。

第一次「見通す」では、「和」と「洋」どっち派？アンケート」を取り、和室と洋室の写真や映像を見せ、教材文への興味関心をもたせる。関連する既習事項を振り返り、この単元で身に付けたい言葉の力を確かめる。学習の流れを確かめ、見通しをもつ。

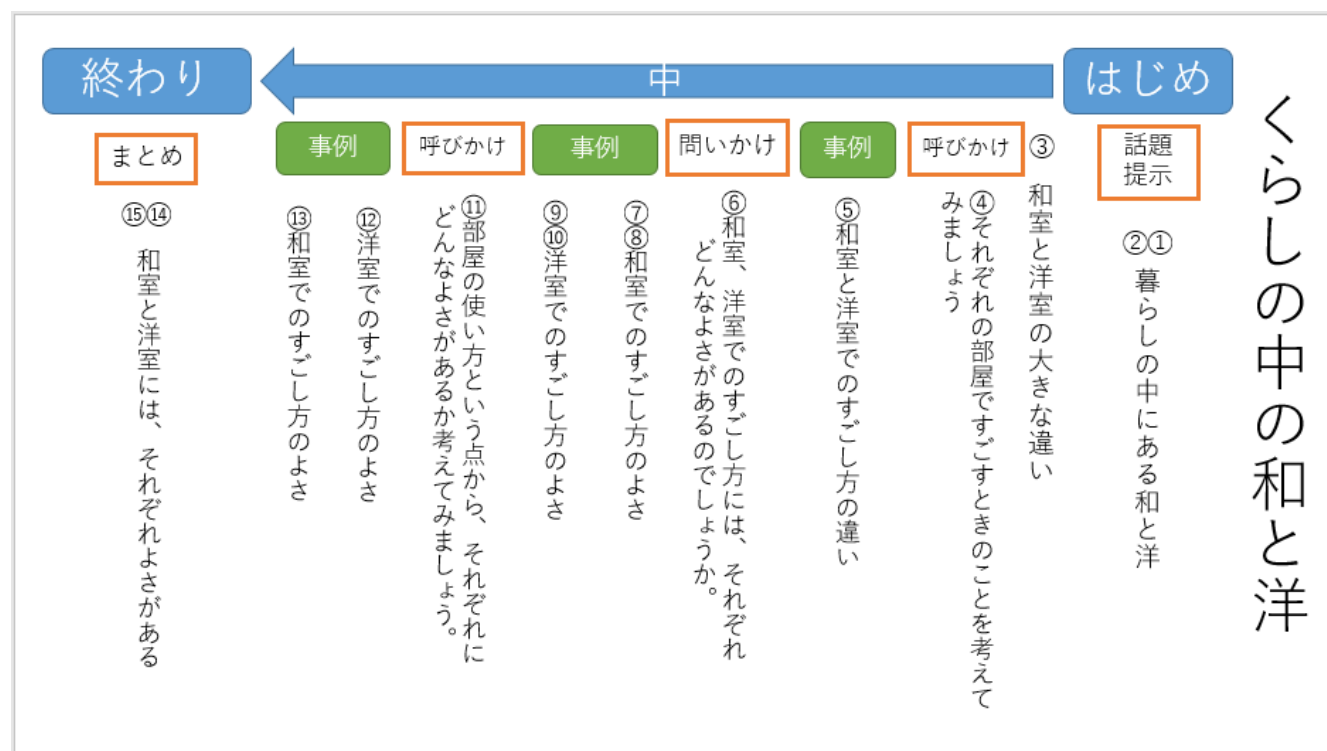
第二次「取り組む」では、2つに分けた文章からよさを読み取らせた後、元の文章を読ませることで文章における比較のよさに気付かせる。段落ごとの内容を確認、文章の構成を捉える。和室と洋室のそれぞれのよさをどのような観点から比べているか確かめオクリンクにまとめる。自分の生活を振り返り、和室、洋室のそれぞれのよさをどのような場面で生かせるか考える。紹介文に使う大事な言葉を文章の中から選ぶ。自分の考

える和室、洋室のよさを、書かれていることの要約を用いて紹介文にグループごとにまとめる。どのように自分の生活と結びつけているか、どのように要約しているかに注目しながら紹介文を読んで、感想を伝え合う。

第三次「ふり返る」では、どのように要約し、どのように自分の生活と結びつけて紹介したかをグループで振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。学習したことをどのように生かしていきたいかを確かめ、次の学習の意欲を高める。

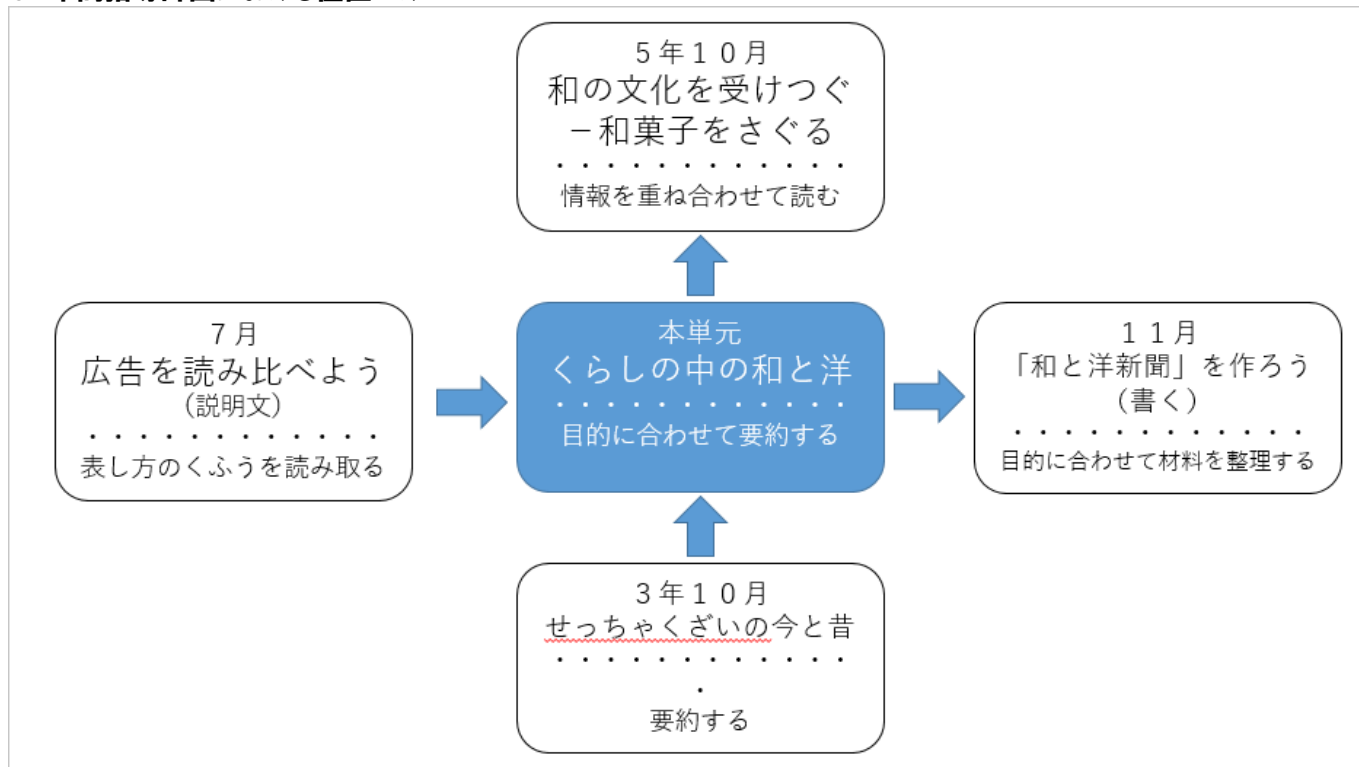
(2) 児童の実態について「児童観」

(3) 教材の活用について「教材観」



本教材は、暮らしの中の住における「和」と「洋」の違いやそれぞれのよさを対比し分かりやすく説明した文章である。和室、洋室のそれぞれのよさを観点に沿って比較することで、どのような場面でそれぞれのよさを生かせるか、おのずと自分の生活と結びつけながら考えることができる。また、児童に「和」と「洋」の文化が対立するものや別々のものではなく、両方の良さを取り入れることで、現代の生活を豊かにしていることを学んでもらうことができる。そのため、和室と洋室のそれぞれのよさを紹介するという目的に合わせて文章を要約することに適した教材である。

5 年間指導計画における位置づけ



6 単元の指導計画と評価計画(全8時間)

		目標	○主な学習活動	評価規準(評価方法)
1	見通す	「言葉の力」を確かめ、単元の学習の見通しを立てることができる。	「和」と「洋」について考え、学習の流れをたしかめよう。 ○「和」と「洋」どちら派?という質問から話し合う。 ○今回ではこの文章のなかから、必要な情報を得て、最後に紹介することを伝える。	「和」と「洋」について自分の考えを伝えることができる。(発言)
2	取り組む	「洋」の文章を読み、要点を読み取ることができる。	「洋室」のよさを読み取り、オクリンクにまとめよう。 ○「洋室」の文章に書いてあるよさを見つける。	「洋室」のよさを文章中から見つけることができる。(ミライシード)
3 本時		「和」の文章を読み、要点を読み取ることができる。	「和室」のよさを読み取り、オクリンクにまとめよう。 ○「和室」の文章に書いてあるよさを見つける。	「和室」のよさを文章中から見つけることができる。(ミライシード)
4		元の文章を読み、比較の良さについて知ることができる。	文章における「比かく」のよさについて知ろう。 ○なぜ筆者がこのような書き方で説明しているのか考えさせる。	文章に比かくのよさを理解している。(ミライシード)
5		「和室」「洋室」のどんなよさを紹介するのか、自分の生活と結びつけて考えることができる。	自分の生活をふり返り、「和室」「洋室」のよさをどのような場面で生かせるかを考えよう。 ○自分の生活と結びつけて「和室」「洋室」のそれぞれのよさをどのような場面で生かせるかを考える。	自分の生活と結びつけて「和室」と「洋室」のそれぞれのよさをどのような場面で生かせるのか考えることができる。(ミライシード)

6		文章の中から選んだ部分を要約して、紹介文を書くことができる。	文章の中から、しょうかい文に使う部分を選んで要約しよう ○「和室」「洋室」のよさについて、文章から選んだ部分を要約して紹介文を書く。	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(ノート)
7		紹介文を読み合い、それぞれの感じ方の違いやよさに気づくことができる。	しょうかい文を読み合い、感想を伝え合おう。 ○紹介文を読み合い、感想を伝え合う。	進んで目的に合わせて文章を要約し、学習の見通しを持って、紹介文を書いて感想を伝え合おうとしている。
8	ふり返る	単元の学習を振り返り、身に付けた力を確かめることができる。	学習をふり返り、学んだことをたしかめよう。 単元の学習を振り返り、身につけた力がどのような場面で生かせるかを考え、伝え合う。	目的に合わせて要約するためにはどのようなことが大切だったかを、自分の言葉でまとめている。(ノート)

7 指導の工夫

できそう！やってみたい！！前のめりに学ぶ児童の育成
国語科説明文における「読み解く力」の育成

<読み解く力ポイント>【同義分判定】におけるつまずきポイント

自分の考えを他者の考えを交流させた際、すこしでも自分の考えと違うと自分が間違っていると勘違いしたり、逆に他者の意見が間違っていると判断したりしてしまうことがある。それぞれの考え方や感じ方の違いやよさについて気付かせるためにも、交流させる前に決まり事を設けることで他者の意見も受け入れやすくなる。

<前のめりポイント>

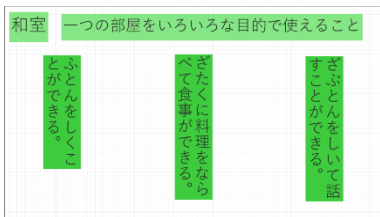
単元の導入で「和」と「洋」どっち派？アンケートを行わせる。単元が進むにつれそれぞれのもつよさについて気づくことで、自分の気持ちの変化や、相手の気持ちを変えたいという思いをもたせることに繋げていく。

8 本時（全8時間中の第3時）

（1）ねらい

「和室」「洋室」のよさを要点を確認しながら読み取ることができる。

（2）展開

	○具体的な学習活動・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ※「読み解く力」との関連 ■学習活動に即した具体的な評価規準（評価方法）
Input	○「和」と「洋」どっち派アンケートの結果を確認する。 ・前回と比べて「洋」がさらに増えた。 ・日本に住んでいるのに和の方が票が少ない。 ・「和」の票を多くしたい。 ○本時のめあての確認	◇本時では、「和室」に関する文章からよさを読み取っていくことを伝える。
「和室」のよさを読み取り、オクリンクにまとめよう。		
Think	○「和室」の文章のよさの読み取りを行う。 ①本分を読みまとまりを見つける ・「和室ですぐすとき～様々なしせいをとることができる。」 ・「また～すわることができます。」 ・「もう一つのよさは～しくことができます。」 ②要点を見つける ・「様々なしせいをとることができる。」 ・「人と人との間かくが自由に換えられる」 ・「一つの部屋をいろいろな目的で使えること」 ③具体例を見つける ・「きちんとした場では正ぎができる。」 ・「自然にきよりの調節ができる。」 ・「家にお客さんが来て食事をするることができる。」 ○オクリンクで「和室」の文章の要点をまとめる。  ○考えを発表し合い、カードを比較しながら、自分と友達との違いを見つけ、アドバイスし合ったりする。 ・この具体例は1つではなく2つだよ。 ・この文章はこのようにまとめたほうが良いよ。	◇前時に行った読み取り方を想起させ行わせる。 ◇文章のよさに注目させ、段落ごとにまとまりを見つけさせる。 ◇黒板に模造紙を貼り、まとまりがどこか分かるように書き込んでいく。 ◇段落ごとの要点確認を行う際に「この段落での筆者が伝えたいよさは何だろう」と問いかけ、よさを見つけやすくする。 ◇文章のまとまりにつき、一つよさがあることを伝え、良さだと思ふところに線を引かせる。 ◇具体例にも線を引かせ、オクリンクでのまとめを円滑に行えるようにする。 ◇文章からみつけたよさをオクリンクでまとめさせ、グループでの共有が行いやすいようにする。 ◇要点をまとめる際、時間を決めるが、3つまとめることは難しい。1つ以上出来ていたら良いことを伝える。 ■「和室」のよさを文章から読み取ることができている。（ミライシード） ◇自分の考えを深めていけるように、個人→グループ→全体と段階を踏む。 ◇他者の意見を取り入れ、まとめてもよいことを伝える。
Output	○全体での発表を行い、自分の読み取りが合っていたかを確かめる。 ○本時の学習を振り返り、「和」と「洋」どっち派？アンケートを行う。 ・洋室の方が良いと思っていたけど、和室の文章を読み取ってみて、和室の方が良いと感じた。 ・和室のよさを知って、さらに和室を紹介したいという気持ちが高まった。	◇自分が見つけたよさと相違がないか確かめながら聞かせる。 ■まとめたことを発表することができる。（発表） ◇毎時間の終わりに行うことで、自分の気持ちの変化に気付くことができる。

成果	課題
・読み取りポイントの明文化を行ったことで、児童が読み取るべきポイントを明確にできた。 ・和と洋の文章を分けたことで、読み取りが行いやすくなった。 ・アンケートを活用することで、児童の興味を引き出せた。	・教科書に文章の要点の位置を変えずに文章を変更するべきであった。 ・和と洋を比較しながら考える場面を設けるべきであった。 ・共有の意義を明確にできなかった。